



大塚先生から

毎日暑いですね。いよいよ本格的な夏がやってきました。暑さに加え、コロナウィルス感染者数増加のニュースに不安を募らせる方も多いのではないのでしょうか。今回は、がんばっている子どもたちへ、日本小児科学会からのメッセージを紹介します。

https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20200406_01.pdf

小児科外来より

7月に入り、ぜんそくや脱水症状で受診する子どもが数名いました。感染症防止対策とともに、こまめな水分補給、熱や日差しから守るため外では帽子をかぶるなど、暑さ対策にも気を付けていきましょう。



病児保育室はっぴいの利用状況は下記の通りです

(受入れ人数一日3人) 2020/07/01~2020/07/31

	0~1	2~3	4~6	学童	合計
能代市	11	3	4	0	18
山本郡	1	3	0	0	4
その他	0	0	0	0	0
合計	12	6	4	0	22

お薬についての Q&A (その3)

薬剤師さんへの相談その3です。みなさんはこのような経験はありませんか？



Q. 咳と鼻水がひどくて処方された薬を飲ませたら、すぐに吐き出してしまいました。もう一度飲ませても良いですか？

Answer

薬を飲んだ直後に吐いてしまい、明らかに薬が出てしまった場合は、ほとんど薬は吸収されていないため、もう一度同じ量の薬を飲ませます。吐いた後は、少し休憩してから飲ませてあげてください。薬を飲んでから30分以上経ってから吐いてしまった場合は、すでに体に吸収されていると考え、再度飲ませない方がよいでしょう。

薬剤師 茂野



がんばっているみんなへ 大切なおねがい

「新型コロナウイルス」って聞いたことありますよね。そう、最近、テレビなどで毎日のように出てくるから知ってるかな。

ウイルスは「ばい菌」の親せきで、病気を起こすものなんだ。今回のウイルスは新しくできてしまったウイルスで、そのウイルスが鼻や口から入って移ってしまうと、病気になっちゃう危険もあるんだ。

でも、みんなのような子どもたちは、移っても重い病気になることは少ないから、あまり心配しないで。ただ、みんなに移ると、大人たちに移してしまい、その大人がとても重い病気になってしまうかもしれないんだ。だから、みんなとみんなのお友だちに移らないようにすることがだいじなんだよ。

だから、今は、みんなも、みんなのきょうだいも、みんなのお父さんやお母さんも、家族みんなにウイルスが移らないように、お家にいることを多くしたりして、がまんしているよね。

でも、ずっとがまんしていると、いやになって疲れちゃうよね。

もしかしたら、ずっとがまんしてきて、みんなも、みんなの家族も、ときどきイライラしているかもしれないよね。でもそれはけっしてみんなや家族が悪いわけではないよ。新型コロナウイルスのせいだよ。

でも、もし、みんなの家族のイライラが強すぎて、みんなが困ってしまったら、一人で悩まない誰かに相談しようね。

もし、大人の人からたたかれたり、ご飯をもらえなかったりして、みんなが「こわい」とか「苦しい」とか感じたら「189」に電話して。そうすれば児童相談所というところにつながるよ。そこはね、子どもを守ったり、助けしてくれるところだよ。そこの人にお話ししてね。

それから、とてもごんねんなんだけど、もし、移ってしまったみんなのお友だちやその家族がいても、その人たちをぜったいに責めないで。その人たちはぜんぜん悪くないし、治って帰ってくれば、元気になってもとどおりだよ。そのときはやさしくしてあげようね。

いま、世界中のお医者さんも看護師さんも、みんないっしょうけんめい、このウイルスがいなくなるように戦っているよ。世界中の大人がみんな、ウイルスが広がらないようにがんばっているよ。だから、みんなも、今はちょっと大変だけど、いっしょにがんばろうね。



作成：公益社団法人日本小児科学会・一般社団法人日本子ども虐待防止学会
一般社団法人子ども虐待医学会

ジェイコー

独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)秋田病院

病児保育室はっぴい

〒016-0851 秋田県能代市緑町5-22 3階ナースステーション隣り

T E L(代表) 0185-52-3271(予約・問い合わせ)090-8924-4253